

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性  
審査に関する事業者ヒアリング(131)、(164)」

2. 日時：令和4年11月30日（水）16時00分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田企画調査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、  
海田主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、大井安全審査専  
門職、宮脇安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、松末  
技術参与、馬場係員

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員  
中川原子力土建部長 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年11月22日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）第1078回審査  
会合を踏まえ認識した課題への対応方針

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁の認識です。これからヒアリングの方始めたいと思います。本日のヒアリングですけれども、浜岡原子力発電所、敷地の地質地質構造のコメント回答ということで、
0:00:16	第 1078 回審査官会合を踏まえた、
0:00:20	認識した課題への
0:00:24	対応方針ということでの
0:00:29	ヒアリングになります。
0:00:31	それでは中部電力より資料についての説明をお願いいたします。
0:00:39	はい。中部電力浜野でございます。前回 10 月 26 日の日に、課題への対応方針 1 回目ヒアリング実施いただきまして、
0:00:50	そのあと、10、1 月 14 日に現地確認いただきましたということで、
0:00:57	現地で見えていただいたもの等を織り込んで資料の方を修正して参りましたので説明をさせていただきたいと思っております説明時間 10 分程度になりますよろしくをお願いいたします。
0:01:13	中部電力の森元でございます。それでは資料を説明します。
0:01:19	先月 10 月 26 日のヒアリング、
0:01:24	からですね、
0:01:27	前半の部分は大きく変わっておりませんで、
0:01:30	後半、11 ページ以降、
0:01:34	現地確認いただいた内容を、も含めてですね追加するような形という体裁をとっております。
0:01:41	前半部分から内容だけ、振りをおさらいといいますか、ご説明させていただきます。
0:01:47	まず 1 ページ 2 ページ目。
0:01:49	が、前回審査会合を踏まえ認識した課題ということで、
0:01:54	具体的な課題、それから、青字で指摘事項を記載しておりますこれラップアップでの
0:02:03	放置させていただいたものを反映したものでございます。
0:02:08	それから 3 ページ目、ネット課題への対応方針の概要ということで、下にフロー図のような図で、前回 1078 回会合に、
0:02:18	おける説明内容といいますか、
0:02:21	論理構成をお示ししておりますので、その中で、
0:02:26	A B C と、黄色で塗りつぶした部分がありますが、三つのポイントが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	あるというのを相互に確認、
0:02:37	共通認識として、確認いただきましたが、その三つをポイントを入れ込んでおります。
0:02:46	課題への対応としては、この後、
0:02:50	このA B C、どれに該当、どの課題の解決に繋がっていくんだという形で整理をしております。
0:03:00	この三つのA B Cに合わせてですね図の右の方にも書いておりますが紫色のマルdとして、
0:03:07	これ以外にも多角的な視点での調査についても検討しているということで、
0:03:12	具体的にはB F 1 生の下にこういった断層があるのかという調査もやっているというものでございます。
0:03:20	4 ページ目。
0:03:22	は、その課題の、
0:03:25	対応方針として、前回の会合で、認識、
0:03:33	しました課題に対して、
0:03:36	こういった対応をしていくのかというのを表形式でまとめたものでございます。
0:03:42	4 ページが、その概要的な部分でございまして、
0:03:47	そのあとですね、5 ページ、6 ページ7 ページと、
0:03:53	あけまして、
0:03:56	もう少し細かく、具体的にこういった調査をしていくのかというのをまとめたもので、
0:04:01	ございます。
0:04:03	で、ここの内容ですね前回ご説明させていただいた時に古地磁気り、
0:04:08	文献の参照の仕方がですね適切でなかったところがありました西井さんからご指摘いただいておりますが、古地磁気の調査自体はやっていくんですけれども、
0:04:18	ちょっとその文献の具体的な逆
0:04:25	逆転層があるという記載をしておりましたがその部分はちょっと記載を適正化しております。具体的な調査内容としては、変わって、
0:04:34	おりません。
0:04:37	はい。1 枚博士を挟みまして、9 ページ、それから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:45	10 ページ見開きですねどういった地点で、どういった調査をしていくのかと。
0:04:51	いうのと、それに対する工程を記載しております。
0:04:55	工程の方はですね
0:04:58	少し実情の進捗に合わせて見直しをしております。
0:05:02	見直しをしておりますが、工程表の一番下の
0:05:06	3 ですね調査結果についてのご説明時期というのは前回から変わっておりませんで、
0:05:11	今のところ 1 月の下旬から 2 月にかけて調査結果事例の調査結果についてご説明する予定で、
0:05:18	おります。
0:05:19	工程の変更点は以上でございます。
0:05:23	で、また、1 ページを用いて 9 ページの内容になりますが、どういった時点で、どういった調査をやっているのかというのを、
0:05:33	お示ししております。
0:05:35	先日の現地確認においてはですね、主に B F 4 地点、
0:05:40	富井河津の拡大図があります B F 4 地点付近で泥層の
0:05:46	詳細な分布状況ですとか、
0:05:49	泥層と笠名礫層相当その層位関係が見れるんじゃないかという露頭をご確認いただいたかと思えます。
0:05:56	あわせて B F 1 地点においてもですね、ボーリング等で泥層 - 古谷泥層の詳細な分布状況を調べていますという内容をご説明させていただきました。
0:06:08	本日の資料は 10 月末にご説明した内容から、そのあたりをですね 11 ページ目以降で、
0:06:15	具体的にこういった調査を今重点的にやっていますと。
0:06:19	いったタイトルで記載をしております。
0:06:23	まず 11 ページの内容ですけれども、
0:06:26	泥層の詳細な分布状況を、こういう調査によって調べてみますと、
0:06:31	いう内容をお示ししております。
0:06:34	あと現地確認を最後、御所現場でご説明させていただきましたが、実験条件土壌等を使いまして、
0:06:41	B F 4 地点、周りの面的な調査を行っているというものでございます。
0:06:48	まずは、珪藻と同じ標高である。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:54	大体標高 45 メートル以上のところを中心に重点的にやっているという ものでございます。
0:06:59	あわせて、B F 1 地点に分布する古谷泥層についても、ボーリング調査 をしています。
0:07:06	いう内容をこのページにはまとめております。こういった面的な調査を 今重点的にやっていると。
0:07:11	いうものです。
0:07:14	次の 12 ページは、その進捗状況、今こういった結果が出ていますとい うものをまとめております。
0:07:22	平面図で、検討状等によりまして、
0:07:26	レース堆積物が確認できたところを青丸で、
0:07:32	それからそういった堆積物がなくてすぐ相良層が不精査の下に出てき た、表土の下に出てきたところを、緑丸で示しておりますが、
0:07:41	B F 4 地点、従来前回の審査会合でお示ししていた、
0:07:46	赤丸の部分で、泥層が確認できておりましたが、その
0:07:50	コーン、南東方向で何とかでですね、広がりを持って提出堆積物が、
0:07:57	分布していることを、現在、
0:07:59	確認しております。
0:08:01	今後ですね今回、今までこれまで核にできたのが、県土壌による結果で すので、トレンチ、
0:08:09	調査等を行いましてその性状をより詳細に確認していきまして、
0:08:14	ビー・エム・エルの泥層と、こういった関係にあるのかというところを 調べていく予定でおります。そういったものをこのページで説明してお ります。
0:08:23	12 ページのですね N a ず
0:08:27	と、中、中心のちょっと下辺りにトレンチと T 1. のあたりでトレンチ の位置図を示しておりますが、その状況をですね 13 ページ。
0:08:38	に示しております。
0:08:39	ここがですね、現地確認でもご説明いたしましたが、
0:08:45	泥層と笠名礫層の相当層、
0:08:48	そういう関係を示している露頭の可能性がありますので、
0:08:53	今後トレンチの拡張それから試料分析を行っていく予定であります。
0:08:59	その旨をこちらに記載しております。
0:09:05	P F R 泥層と、層相が類似した堆積物の上に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:11	堆積物を削り込んでいる関まじりシルトが見られるということで、
0:09:16	こちらの関係をより詳しく今後調べていく予定であります。
0:09:23	次 14 ページの内容になりますが、ここまでご説明した内容を以外にも です。今後実施予定の調査、
0:09:33	ということで、1枚でまとめて、
0:09:36	おります。
0:09:38	まず箱書きの内容ですけれども、文献において、BF4 地点、BF1 線、
0:09:45	それから比木2 地点、この辺りですね。
0:09:48	古谷泥層が分布するとされる地点、ここを中心に露頭調査等行いまし て、売り上げ分布、それから性状のデータ拡充を締め進めて参る予定で ございます。
0:10:01	あわせて、
0:10:03	BF 一位BF4T 位置で確認されたレース堆積物、それから歴史堆積の 白物の試料分析も進めて、
0:10:13	います。
0:10:14	当然今後こういった調査を進めていくと、追加の
0:10:21	事前の調査だとか、分析も必要になってくる可能性もありますので、
0:10:26	そういったものが必要と判断した場合はこれらの対応も確実に進めてい く、と。
0:10:32	いうものでございます。それを平面図の方でお示ししております。
0:10:40	はい。資料の内容としては以上でございますこの後ですね 15 ページ以 降にはですね前回 11 月の 14 日に現地確認いただいた際に、
0:10:51	資料としてアバウトでお渡ししていなかったパネルの資料を資料化し て、
0:11:00	追加させていただいておりますので、
0:11:04	いただいております。
0:11:05	この資料一番最初に、
0:11:09	社員寮の階段から、
0:11:12	御前崎地域の地形ってこう、こういうものと、BF1 地点とBF4 地点の I I
0:11:17	位置関係はこういった内容ですというのをご説明させていただいた内容 を、
0:11:21	しまとめたものでございますのでこちらの参考資料という扱いで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:26	本日のヒアリング資料として提出させていただきました。
0:11:29	こちらの説明は以上になります。
0:11:35	エキスポ
0:11:36	規制庁ニシキです。
0:11:38	説明ありがとうございました。
0:11:40	それでは規制庁側から少し確認をさせていただきたいと思います。
0:11:46	まず私の方からですが、
0:11:49	ちょっとこれ全体的なところでのお願いといいますかあれなんですけども、
0:11:54	まず何か調査全体のですね目的っていうものはある程度前回の
0:12:01	河成 78 回の審査会合に対するコメントを受けてのが大きくあってそれに対する調査を実施してるってことはわかるんですけども、
0:12:10	それぞれのですねその調査そのものがですね一体どうどういった、
0:12:15	ことが成果として期待されて、
0:12:19	るのかってことがちょっといまいち見えづらくてですね
0:12:22	何て言いますか全体のその調査行為、こういった方向でやっていくのがいいのか、例えばいいのか悪いのかっていうところを考えたときにですね、なかなか我々の方としても、
0:12:33	どうなのかっていうのはなかなか
0:12:35	わかりづらいのかなっていうのがありまして例えば、地質調査っていうのは、
0:12:39	非公募だと 0 例えば 3 ページ目でいくと、丸栄の泥層の
0:12:46	が非広域的に分布する地層であるってことが示すためだとは思んですけども、多分、地質調査に関してはある程度その広がりを示すことだとか。
0:12:57	具体的にどういうものがあるのかってことを示すものってことは一応よう考えたらあれでわかるところがあるんですけども、
0:13:05	例えば、6 ページ目以降のところですね、いくつか、
0:13:10	部署比右側のところに武将を得るための主な調査手法って書いてますけども、先ほどの古地磁気とか書いてますけど
0:13:18	東証、前回のヒアリングではそこは虐待事業期のものが検出できるかどうかっていうところが一つ頭にあってやろうということだったと思うんですけど例えば今回工事時期もやりますというようなお話がさっきありましたけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:35	じゃあ具体的に古地磁気のデータってどういったものが獲られてどういったことが、
0:13:40	どういったものが出ると。
0:13:42	一緒だと何か対比できるんだとか違いがつかれるんだっていうことを考えて作業されるのかっていうところがちょっとわからないのでその辺の
0:13:51	何かこの何かしらこの作業を、調査手法を立てる上では、その作業仮説があって、それでどういったものがえられてどういったところでアウトプット替えられてどういったアウトカムになってますっていうことがあるはずなんですけどその辺がちょっとよく、
0:14:06	方針ということではよく見えないなというのあるんですけどそのあたりって、
0:14:10	どうですかね。はい。
0:14:16	もしあれでしたら
0:14:18	例えば古地磁気はこういったことができそうでとか、もし今すぐだ、出るやつは少し、
0:14:24	ご回答いただければ確認させていただきたいんですけども。
0:14:31	はい。はい。中部電力の森本です。古地磁気に関してですけれどもまずすいません虐待Gの層準は文献。
0:14:43	ニシキさんからもご指摘いただいておりますが、まず精査して結果なかなか出てくるのは可能性は低いかなと思っておりますけれども、
0:14:50	やはり何らかの、
0:14:52	方向として、当時の地域が出てくると、で、
0:14:59	今、浦泥層と対するにあたって、
0:15:03	花粉だとか日英微化石がない者同士で対しているというところが課題というふうに認識しております、
0:15:11	何らかの与えられる手法、
0:15:14	一つが古地磁気かなと。
0:15:17	思っておりますで、データとしてもですね従来、随契の結果をお示ししておりますが、もう少しもう一度やり直してみてもいいですね。
0:15:25	そこで獲られた地域と、古谷泥層の方の地域で何らかの
0:15:31	比較ができればなと思っております。ただ
0:15:34	どこまで精度できるかという問題もありますので少し
0:15:38	トライアル、チャレンジングというか、
0:15:43	あそこの見通し。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:44	は立ってないんですけども、幅広に調査をするという一環で、古地磁気を入れております。
0:15:49	それから資料全体のこととしてご指摘をいただいております
0:15:54	調査の目的といいますかどういった結果を求めているのかという点については、
0:16:00	少しそういった形で、別途資料、
0:16:05	わかりやすく記載したいと思います。
0:16:09	今の資料の体裁としてはですねどちらかというと前回の会合でいただいた課題。
0:16:16	それに対してどういった手法をすれば、であれば、
0:16:20	そういった課題の解決の糸口が見えるのかという形で、
0:16:24	課題の方から入るようなまとめ方にしております、具体的には5ページだとか、
0:16:31	6ページ7ページ辺りがそうなんですけれども、
0:16:35	5ページだと下の側の表でですね、課題の方から、左の方から入って
0:16:43	じゃあその解決の糸口になりそうな部署って何なのかを考えたときに、
0:16:49	その部署を得るための手法ってどういったものがあるのかと。
0:16:53	そういうまとめ方を今しております。
0:16:57	今、西さんがおっしゃったのはどちらかというところの、
0:17:03	左から右ではなくて右から左の方を、
0:17:06	整備して欲しいというふうに受けとめましたので、
0:17:12	例えば一番上ですね県道上ボーリングトレンチこういったものを
0:17:18	どういった答えを求めて、期待してやっているのか。
0:17:22	それは
0:17:24	えられることで、
0:17:26	じゃあ何がわかるようになるんだ、課題が解決するんだっていうそういうまとめ方かなというふうに、
0:17:32	思いましたので、少しその辺りは、
0:17:37	と比べさせていたきたいと思います。
0:17:40	以上です。
0:17:45	規制庁の認識です。御社中部電力の方で考えているところは
0:17:54	どういう、どういうことを考えてるかは、ある程度、はい、わかりました。ただ私もですね特に平井右から左から右ってお話でいくと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:04	基本課題、個別の課題のところからこう見左から右に流れるようなことで一応、
0:18:13	話はしたつもりなんですけれども、その中で要は個別の課題っていうものを解決していく上でこういった手法を使います。その手法を使って、
0:18:25	それは当然課題なんか課題解決のために使うのはわかるんですけども、その課題解決に向けて何がどういうことが見えてくるのかっていうことを持った上でそれをやるんですかっていうところがよく見えないなということでちょっと、
0:18:38	それをもう少し見える化していただいた方がないと、なかなかその対応方針としてこれが、
0:18:47	有馬迫の調査方針としていいのか悪いのかっていうところを考えていくになかなか我々の方の方としても、よくわかんないなというふうになりかねないので、その辺、当然御社、
0:18:59	何かしら、調査をするってことだと思うことですからそれはな目的主目的っていうか、何だかな結果をこういうことが出るだろうってことを見越した上で多分作業入られてると思うのでその辺をうまく、
0:19:12	表現していただければいいのかなというふうに思っているんですけども。
0:19:16	ちょっとその辺ちょっと、私、さっきのうまく伝えられなかったかもしれないけどそういったことなんですけども。
0:19:22	いかがですか。
0:19:24	はい。
0:19:25	中部電力天野でございます。
0:19:28	例えば、5ページの、見ていただいて、真ん中の下に表が、
0:19:34	ありまして、中段のところ、
0:19:37	泥層-1。
0:19:39	詳細な分布状況、丸栄とかいって、泥層の広がりについて確認って書いてありますけど、
0:19:46	ニシキさんのおっしゃる広がりを確認したら、何がいえるっていうところがない。
0:19:53	という、ご趣旨かなと思いましたが例えばその下も0層と古谷泥層上位層の層位関係Cと書いて、
0:20:03	古谷泥層上位層等の不整合面露頭の有無を確認して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:09	じゃあ何がいえるのっていうとこれ、まさにピーチ等で見えていたようなところで、年代が、この上下関係で判別できるのではないかなというようにもくろみが、
0:20:21	私たちがあつたけどそこまで書いてないもんだから、じゃあその有無があつたら、何を言いたいのっていうところが、この資料で読みきれないというご趣旨かなと。
0:20:31	思いました。で、ちょっとそういう、
0:20:36	ところも含めて
0:20:38	追記させていただいてここだと僕個人的に私としても、
0:20:44	もう1個我々のもくろみが見えづらいので、そこまで書き下せるように対応させていただきたいと思いますがそんな、
0:20:54	イメージでよろしいですか。
0:20:59	規制庁ニシキです。
0:21:01	おおよそ私がい、申したこと。
0:21:05	言いたかったことは拾えていただけたかなという気はします。いずれにしろ
0:21:12	何といいますか、ここになっています。中部電力と、我々の方で次の会合を踏まえての経緯わかってるメンバーでいくと、その辺がわかるころなんすけどこの資料だけポツと見たときに、ある程度ちゃんと
0:21:26	つかめるっていうことが大事だと思いますんでそういったことを意識して資料を、
0:21:31	少し追記いただければ良いのかなというふうに思っております。
0:21:38	はい。中部電力天野です。承知いたしました。特にこの567が、
0:21:44	一応そのツーステップ目ぐらいまでは書いているつもりなんですけどその最後の本当に、ここがうまくいくとこういうことがいえるのではないかなというところが書けてないので、
0:21:58	この調査をやること自体が、意味があるかないかというのはよく読み切れないということで、
0:22:04	よくわかりましたので、
0:22:06	その辺りは追記をさせていただきたいと思います。
0:22:11	はい。よろしく。規制庁ニシキですよろしく願いいたします。
0:22:16	ちょっと続いて私の方が少し細かいところの確認に入って、
0:22:21	できますけれども、
0:22:23	12ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:26	なんですけれども、
0:22:27	これBF4付近の追加調査の実施状況ということでAを出していただいているんですけども、
0:22:38	臨時確認で見せていただきましたT11付近の、
0:22:43	トレンチなんですけれども、このトレンチの位置って何かずれてませんかというのがあるんですけども、
0:22:51	現地確認とかで何かし、そのときに示していただいた資料と何かずれるような気がしたんですけども。
0:22:58	いかがですか。
0:23:03	はい中部電力の森本です。すみませんちょっとその点、説明が抜けておりまして申し訳ございません。
0:23:10	現地調査の時のトレンチを、すみません地形、
0:23:14	図面上ですすね地形合わせで、
0:23:17	落としておりましたが、すみません
0:23:23	唯一ですすね座標、
0:23:25	測量を行った結果を反映したものが現在の
0:23:29	12ページでございます。その点なので現地調査の時点でお渡ししている、資料からですすねトレンチの位置が、
0:23:39	少し左側にちょっとずれておりますが、この位置関係が、材料としては正しい位置になりますので、
0:23:50	すみませんこちらが正確なものでございます。
0:23:56	すみません今のところで規制庁のスズキですけど、あれこれは現地確認の時の資料だけが、
0:24:04	間違えてましたっていうことですかそれとも、今回改めて見てみると、当時これ多分これ今の資料だトレンチの頭のあたりからずっと上に向かって、若干高まりがありますよね。
0:24:17	これが、現地確認行ったとき2、土手を登って反対側に行ったと思うんでその度高まりかなと思ってずっと見てたんですけど。
0:24:28	過去の会合資料は正しくて、現地確認のときだけ間違えてました。そういうことですか。それとも、改めて見てみると、やっぱり何か昔から、
0:24:38	少しずれてましたっていうそういうことなんですが多分露頭位置とか露頭になって昔からありましたよね。その近くに新しく今トレンチを掘りますっていう説明だと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:52	はい。中部電力の森本です。まずトレンチの位置をお示したのは前回の現地確認の資料になりますので、
0:25:00	その位置でございます、今鈴木さんおっしゃっているのが、
0:25:06	過去からですねルートマップとしてこの辺りの、
0:25:10	提出状況をお示した資料がございます。
0:25:14	その資料が、この地形は急いで一部変えているところがありましたので、ちょっとそちらの方はですねこの
0:25:24	今回の測量結果を踏まえて精査してですね訂正の必要があるものについてはその旨、また、正式な資料でご説明させていただきたいと思ひまして、
0:25:37	ちょっと今その点をですね確認中でございます。
0:25:40	申し訳ございません。
0:25:42	また資料としてお示しさせていただきたいと思ひます。はい。これ多分もともとは浜岡の町が発行したものに重ねているんですけど、
0:25:52	あそこ多分現状とで少し違うということなんですかね、このP11 愛知あたりのこの、
0:25:58	高まり引っ込みみたいな。
0:26:05	はい大本です。地図安静ですか座標合わせするかとかですねしたとの、
0:26:11	位置関係を整理するか、全体座標を整理するかの違いでありますので、
0:26:18	少しその辺りを整理してですねまたご説明させていただきます。阿南で絶対座標を整理すると、技術、
0:26:26	両方あってるっておっしゃりたいんですけど、座標合わせをすると、今のこの今回の12ページになるし、
0:26:32	地形としては、それは浜岡の発行した2500分の1の地形図は、これは現状とも、
0:26:38	合っているっていうこと、両方合ってますってことなんですか。
0:26:55	はい中部電力の森本です。まず全体座標をまず正としてまとめたものが今の資料、
0:27:03	でございますので今の位置関係は、
0:27:07	これが正しいものです。
0:27:09	過去の資料を、を含めてですね
0:27:14	突合せでルートマップを落としているものもございまして、そちらの
0:27:21	方はですね絶対座標を整理すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:27	少しずれが生じてくる可能性もあるので、そちらの方を今、
0:27:30	整理はしておりますので、それも含めて、また資料化してご説明したい と思います。
0:27:52	すいませんマイク入ってなかったから、すいません一応今回座標という ことで入れているので、今後確認いただくとしてひとまず、今の資料上 で、これまで現地確認時と場所がずれてるのは、
0:28:04	そこちょっとあまり気にしないようにしてこの説明は聞くようにします はい、ありがとうございます。
0:28:14	はい。中部電力の森本です。すいませんちょっとわかりにくい説明をし てしまったんですけれども、
0:28:19	自治体の地図が、現地の地形と合ってるかどうかも含めてですね今確認 をしておりますので、そこも併せて
0:28:29	地質状況といいますか、また、
0:28:36	今回の方針と別にですねご説明させていただきたいと思います。
0:28:46	規制庁ニシキですすみませんちょっと今のところだけちょっとだけ確認 させてください。この浜岡町発行 2500 分の 1 の地形図ってのは結構古 い地図ですから 2000 年より前ぐらいですかね。どうですかね。
0:29:07	あちゅ、
0:29:08	中部電力大南です。すいません何年ってのあるんです。あるんですけれ どもかなりちょっと古い地図になっておりまして 2002 よりは古いはず でちょっと確認しますけれども、
0:29:19	現代の D I S から比べると大分と人工改変が、
0:29:23	今はされてるような状況になっております以上です。
0:29:28	規制庁の伊佐有賀さんや播磨浜岡町発行とか今古いんだろうなどは思い ます当然古い時の地図って、
0:29:36	なんか日本座標系と世界座標系で 2000 年ぐらいに大きく変わって大体 400 メートル続いたりするとかあったりするんですけれどもそういったも ののところで少しプロットするときに、
0:29:47	差異が出てる可能性もあったりするその辺、今はそのプロットされてる のも、例えば J E A G、J E A G、J E A G 2000 で塗ってるだとか、何 だか W B W G S 80 にしたっけそういったもので売ってるだとかそういう のが微妙にずれてくるので、
0:30:03	その辺きっちり合わすってことであればその辺の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:06	今のGPSでこういった代表形での数字を採用するのかってことも含めて、きちんと精査された方が、我々も確認のデモならなくなると思いますのでその辺はよろしく願いいたします。以上です。
0:30:24	中部の加茂でございます。承知いたしました。ちょっと地図の方が古くて、
0:30:33	昭和62年は幸田層、ちょっと古くてご覧いただいたトレンチっていう、この真ん中の高まり越えたところぐらいにあるんですけど、どうしても座標とずれちゃうところもありますんで、ただし、
0:30:46	適切な地図との位置関係をしっかり示すようにいたします。
0:31:03	規制庁ニシキです。私の方からさ、もう一つだけちょっと確認した、いいところっていうかちょっと考え方と今後の考え方にちょっとあらかじめ、
0:31:13	確認しておきたいんですけども13ページ目のところで、そのトレンチ新しく掘りましたところ、
0:31:20	今後、きちんと追加調査していきますよってことかと思うんですけども、ここで
0:31:28	いわゆる古谷泥層相当のものと笠名礫層相当のものがありそうですねという御説明かと思えますけれども、こうで、この二つの違いってどういうもので出そうですかとか、
0:31:43	あとこの紙、笠名礫層等については、司会の地層削り等の堆積物と書いてますけれども、これ、こういったものをもって削り込んでるってことを見せれそうかっていうその、
0:31:55	現状のその調査状況に、どういうところまで確認できているのかとかどういった見込みができありそうかっていうことが、現時点であればちょっと教えていただきたいんですけども。
0:32:28	はい中部電力の折本です。
0:32:30	削り込みに関してですけども、今、下位の地層と上位の窒素、についてですねそれぞれ試料分析を行って、
0:32:42	こういったコントラストが出てくるのかというのを今まさに調べているところですので、
0:32:47	その辺りでコントラス等が出てくれば、ある程度、その地層の違いと、
0:32:53	あと整合面として、礫層の線引けるというところに説明性が出てくるんじゃないかなというのが今のね、もくろみ。
0:33:01	でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:02	それから削り込みMEで具体的にどういったところかなんですけれども、
0:33:09	最終的にはですねブロックサンプリング等を行いましてCT等スルー等を行ってですね見る必要ある、あると思っております、
0:33:21	ただちょっとそこまで今分析、資料採取進められてないものですから今後その辺りを進めていきたいと思っております。
0:33:32	規制庁ニシキです。今後のことについては確認できました。やっぱり、ちなみにですけれども、なかなかこの下の泥層みたいなもの。
0:33:42	堆積構造と上の笠名礫層相当の、いわゆるその堆積物の構造の、
0:33:49	切った切られの関係とはなかなかやっぱり見えづらいという。
0:33:53	認識でいう認識を持っててもよろしい。いいよいですかね。
0:34:04	いわゆる露頭を観察してす。明らかにわかるみたいなものがあるのかないのかみたいな感じなんですけども。
0:34:14	はい。中部電力の堀本です。今の甲斐の鳥居さんはてなとしているところがですね
0:34:24	現地でもご確認いただいたと思うんですけれども、
0:34:28	ほとんど無層理といいますか、構造が見えにくいような、
0:34:33	堆積物になりますので、
0:34:36	もう少しその切り切られというか削り込みの有無というところが見えにくいというのが現状でございますので、
0:34:45	今後試料分析もそうなんですけどトレンチを拡張してですね、
0:34:51	基盤の
0:34:56	高まりーまりとの関係だとか、上位層がどういった
0:35:01	レベルで分布しているのか、辺りも含めて総合的に検討していきたいと思っております。
0:35:10	規制庁ニシキです。現状について確認できましたありがとうございます。
0:35:17	丹渡瀬。
0:35:23	はい。規制庁の鈴木です。一部ニシキの申し上げたことと重複する部分は、
0:35:30	ありますけれども、ちょっとまず全体の、例えば3ページにフローを示していただいているかと思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:38	これ前は今黄色く発注してあるA B Cってここには書いてなくて、御社一応前回の会合で出た課題に対して、A B C D、いろいろと調査をしますと、
0:35:51	ということで、それがこのフロー度をどう関係してくるのが不明だった点は、甲斐P
0:35:58	具体的に書いていただいたと。
0:35:59	今これを見る限りですね、AとBとCの調査というのは、基本的には、次、前回の1078回の会合で説明していた。
0:36:12	論理構成でそれを踏襲した上で、足りなかった。物証として何々と何々と何々を取りに行きます。
0:36:21	そういうための調査ですっていう、その大目的は、
0:36:25	このフローを見る限りはそう読み解くんですけど、
0:36:28	今回の調査A B Cの一番の目的は何ですかと言われたところがあまり書いていなかったのも、それは基本、前回のこのフローチャート通りに説明していくとその過程で足りないと言われた部分のデータを、
0:36:41	きちんと取りに行く調査ですA B Cはですね。
0:36:44	そこはそういう読み取り方で合ってるんですかそれとも、実はまた別のものがまざってます。この紙フローチャートとA B Cの関係が変わってきてしまうんですけど、
0:36:56	調査日はまた横に置いといてですね。
0:36:59	まずは、これは基本A B Cはこれまで説明してきた、このやり方でこれの物証を取りに行くという調査なんですかね。
0:37:12	はい。中部電力の森本です。
0:37:15	ちょっとその辺り、なかなか難しいといいますがずっと説明したものかなと思ってるところもあるんですけどもというのも、やっぱり前回説明我々説明した論理ーのもとで、
0:37:30	ここが足りてないという指摘を前回いただいた課題として教諭の数の認識を、
0:37:37	思ったので、
0:37:39	その足りないと言われたポイントが、このA B Cだという認識で我々は言いますのでまずはそこを幅広に埋めに行こうという調査を今やっているところです。
0:37:52	ただ出てくる結果によってはですね、どこに重きを置いて説明していくのか論理は今までの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:00	方向で間違った
0:38:04	今の論理で行った方がいいのかそれとも違う論理を、
0:38:07	論理構成にした方がいいのかってのはやっぱりその幅広にやったって出てきた。
0:38:12	結果をもとにですね
0:38:15	再検討した方がいいのかし、
0:38:18	しなくてもいけるのかっていうところをジャッジしなきゃいけないので、
0:38:22	そこをどう資料上に書いたものかなというところを今、
0:38:27	お話聞いてって、思ったところですね、今はですねまずその前のご説明したところに対してこういうところに、
0:38:36	指摘を、指摘といいますか課題を認識しましたというたてつけで、
0:38:42	この図をお示ししておりますで、
0:38:45	このページの箱書きの一番下にも書いておりますけれども、
0:38:50	やっぱり出てくる結果によってはですね必要に応じて論理構成の見直しを行って、
0:38:55	ただゴールとしては、古い堆積物だということを示していかなくちゃいけないんです。それは変わらないんですけれども、
0:39:03	そういうちょっと、
0:39:06	今までのところを前提にして課題としてちゃんと認識して、
0:39:10	幅広に調査をして、当然出てきた結果によっては、その見直しというのを考慮した上で調査はやっていきますという
0:39:21	のが我々としての考え方です。
0:39:25	はい、規制庁の記者おっしゃる通りでてきた結果がもともとのその作業仮説を立てた時のですよ、結果と違うのであれば、その結果に応じて、別の論理構成だったり別の追加調査をやったりするのはそれは当たり前の話で、
0:39:39	ただ、入口として今調査計画でA B C、それぞれ書いてますけど、これは基本的にはやっぱり前回の1078回の課題への対応として、
0:39:50	まずはそれに、
0:39:52	それをちゃんと埋め、埋めれる、データを取りに行くこと。
0:39:57	その上で結果が出た時に違えばそれは違うなりに、別の論理構成で次回説明、今後説明するそれは当たり前の話なんで、入口調査に他な入口としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:07	これは前回の課題に対応しているっていうふうにそこは言い切っていていいわけですね。
0:40:12	当然結果が出た、違ったんで、それは論理構成が変わり得るっていうのは、それはもう当然わかりきった上での話なので、
0:40:22	はい森本です。嘘今鈴木さんおっしゃった通りでして、まずは、そうだった
0:40:32	お互いの共通認識というかですね持って、
0:40:37	あった上で、今は、
0:40:40	前回の論理構成のままでその足りなかったところを埋めに行くという、調査をしていると。
0:40:46	いうところはその通りです。
0:40:50	はい。はい、規制庁スズキありがとうございますその上であれば、先ほど天田さんからもありましたけど、いわゆる5ページ以降ですよ。真ん中の課題、解決に向けて、
0:41:02	求めるというか必要だと思っている武将。
0:41:05	としては、これでいいですねこの部署を求めている取りに行く、その趣旨としてはこういうことです。
0:41:12	というのが多分書け、お書きになると、その同じ前提で共通認識に立って、あんなこの物証としてどうなんだっていう議論が可能になるのかなと思ってますんで、
0:41:24	先ほど言ったように例えば6ページだとなぜ古地磁気層状に着目したんだとかですね、その下であれば、その気泡の層準で品花粉金貨積と異なる層準って言ったけれども、
0:41:36	別にBF4地点のあたりで、ものすごい分厚くですねいろんな層準の。
0:41:41	仮に古谷泥層だとするとですね、いろんな層準が出てくるかというのと、そういうわけでもないんで、ナカタさんする層準があるのかって、
0:41:50	もっと分厚いものが出てくると思ってやってるのかなとかですね、ちょっとそこら辺が、はてなマークが続くので、それぞれ、どう、どういう趣旨で、
0:42:01	この真ん中のこの物証を取りに行こうと思ったんですっていうのははっきりさせてくださいっていうのは、これはニシキの言ったのと同趣旨でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:10	あと今回の資料だと、これはあまりその混乱がないようにということかもしれないんですけど、3ページのフローでいうと、右端のDですよ ね。
0:42:21	ここについて特に何も、
0:42:26	記載がなくてですね。
0:42:29	もちろんこのdというのは、別のうす。仮にですねABCのところ、 当初の想定通りのデータがありませんでした或いはそういう時のことも 含めて、
0:42:42	いろいろ今できることはやり尽くすんですというそういう御社なりのご 判断でやられてるんだと思いますけど。
0:42:49	具体的にDが何やるのかっていうのはこの資料上だと、すでに11月か ら着手しているSIMMER一部は、この間現地確認で、BF1の辺り とかですね。
0:43:00	伺ってはいるんですけど、例えば11ページのBF1のところですねここ に書いてある、その防衛BF1地点の日西側と南側にボーリング
0:43:12	で実施予定エリアと書いていて、
0:43:16	ここに書いてある西側、これ、西側一部やぐら組んでましたけど、南側 のボーリング実施予定エリアと言ってるのは、
0:43:23	ここの今の説明資料上このページの説明資料上は、Dの調査というより も、
0:43:29	これはあくまでそのAの調査として、
0:43:32	の、
0:43:33	こととして書いていて、
0:43:36	Dの多角的多面的かな、多面的な市でこういうことをやってますって いうのは、もちろん書いてないわけですよ。なので、ぶったんとして、 BF1付近まで
0:43:46	物理探査やりますと、
0:43:47	いう話もちろん書いてないわけですけど、
0:43:51	これは、Dは今回あまり、
0:43:54	やっぱり御社としても重要度としては低いっていうふうに考えていい んですかねそこは、
0:44:02	中部電力浜野でございます。
0:44:05	Bのところ、チャレンジングなので衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:11	か書いた方がいいのか書かない方がいいのか、ちょっと判断できかねていたので、今のような形にさしていただいていると。
0:44:21	というのが現状でして、11 ページでも、そのボーリング等実施予定エリアということでこれ、当然の意味も含んでおりまして、BF1 からBF4、
0:44:33	ご覧いただいたように大体 50 円番ぐらいの、昔のタニを形成するような、
0:44:41	ところに、泥層が古谷泥層張りつくような形で分布しているというところを、BF1 からBF4 の方に向けて、広がりの方確認するという一つの主目的がある。
0:44:55	一方で、現地でご確認いただいたように、墓地のところに、一部、
0:45:01	H
0:45:03	ふうに見える、
0:45:05	ことがございまして、それがBF1 の方にも、
0:45:09	あるのかなのかということは、
0:45:14	多角的な視点で調査をしてるんでここ、
0:45:17	たくさん書いた方がいいのか書かない方がいいのかってのが少し、現地でお話させていただいているときに、
0:45:26	少なくとも現時点において、メインストリームに、
0:45:30	なるという
0:45:32	7 時ではなかったので、
0:45:35	本日の資料上は、記載はあまりさせしていないという現状でございます。
0:45:48	あとはいいですねそういう話が全くわからずにいきなり、我々その現地でDに関係するなんての現場を見てきてこの辺りでこういう調査します。もちろん、現地確認に聞いているんですけど、
0:46:01	これがそのままポツと出たときに、何か多角的な視点って、そもそもどんな視点なのかも。
0:46:07	不明ですね、何やるのかも不明で、かつ、全体としてのその調査のウエイトですよ。
0:46:14	こういう、こういう目的なので、
0:46:17	例えばBF1 に近いBF4 とかT11 あたりを、これ最優先で取り組んでるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:25	それ全体の軽重もですね見えてこないし、Bに至っては、本当に、多角的な視点なんで、ある一つのその立証の仕方を施工してるわけじゃ多分ないと思うんですけど。
0:46:37	ちょっとどう、ちゃんと位置付けは確かにはっきりわかるように区別しておかないと、何かAからCの調査で議論をするのと、Bのところで、
0:46:49	本当にそんな調査が要るのかとかそんな議論多分できないと思うんですよね。
0:46:53	今のうちにできること町できる調査やっときますっていうだけの話なんで、ちょっと切り分けた上で、ちゃんとDとして、10ページ目で、何かやってますって、デフ、線が引いてあって11月から何かやってるんだけど、
0:47:08	Bのところで今やっているこのボーリングとかトレンチつつうのは、どういう目的でやってるのかとかっていうのは、全く見えてこないの、
0:47:16	そんなに何ページも押す際たり、さっき言ったようなですね、さっきとかBF
0:47:23	11ページから11ページの中に多分書いてしまうと、
0:47:27	ここって今きちんとAの調査、A-泥層の広がりを見たいっていう調査としてBF1でこれをやってますとかっていう説明してるので、
0:47:38	ここに入れてしまうと、確かに、小平の混乱をきたすというのはまあそうですねですけど、もっとDの調査って何をやってるのかってのフローチャートだったり線表に出てくるけど、
0:47:50	全く最後まで見えないまま、説明が終わるっていう形になるので、今度Dの高い的な自然的な調査って、
0:47:59	これはどういうことを検討して、例えば今こういうことをやっていますとか、これはあくまで、
0:48:05	基本はABCの調査をやった、やった上で、今できることとしてこういうことをやっているの、別にこれに、Dの調査で、
0:48:15	何か論理構築をして次回、今後説明していきたいとそういうわけではありませんよっていうのが、それはわかるようにしてもらえればいいと思うんですけど何も触れ済みリートだけ書かれるっていうのが、
0:48:25	ちょっとこれがー。我々、ここにいるメンバーは、話としてそれが現場で見てた、聞いたあれですねっていうことで理解できるんですけど。
0:48:35	周りが全く理解できないので、
0:48:37	大きいDで1枚ぐらいはつけていただきたいかなと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:42	ただそれがメインストリームとしてつもりでやってるわけじゃないですよってというのはもちろん分かるようにしてもらっていいんですけど、わかるように絞らないとむしろ困るんですけど。
0:48:50	ちょっとDということだけ字づら上書いてあって、
0:48:54	何をやってるのが全く見えないっていうのは、
0:48:58	ちょっとそこはよろしくないかなと思ってます現場でも我々、現地確認時も少し聞いているわけなので、
0:49:04	ちょっとそこが一見えないというのはよろしくないかなというふうに思いますので、1枚ぐらいですね、A B Cの調査を目的なり、こういうことをやってます。きちんと語った上でですね、一番最後に、
0:49:18	ちなみにDはこういうことをっていうので、1枚つけていただきたいかなというのがオーダーです。
0:49:25	はい。中部電力天野でございます。
0:49:29	承知いたしました。ちょっと都道カクウ農家が、
0:49:35	現地でお話した時にちょっと、ちょっと例の、
0:49:39	F1の方を上載層にするという、
0:49:43	チャレンジングな、
0:49:45	検討なんで、
0:49:46	あんまり各党。
0:49:49	何かそこに取りかえるんじゃないかだとかですね、いろいろ。
0:49:53	話題が波及するので、
0:49:57	記載は留意するべきというお話も、現地で聞いていたところがあるので、そういう、
0:50:06	何かB F案のお諮りし、墓石か何かをとっての露頭ですよ。
0:50:13	別にそののが見つかった時点で、そのいわゆるあそこを上載層にするという、
0:50:20	もうものすごい強い意思があって、あの辺りを掘ってわけじゃない。
0:50:24	と思うんですよ。そういう具合に聞いたんですけど。
0:50:28	いやそこはきちんと、A B Cって多分もうきちんと課題があった上でやってる調査なんで、当然目的としてはっきりしてると思うんですけど、Dのところっていうのは、
0:50:38	これまで審査会合で認識を工夫した別に課題があった上で、行っている調査ではないので、別に、もう1申し上げたA B Cの調査これ目的なんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:48	ていうほど、そこをクリアに、御社としてきちんと、
0:50:52	骨格決まってやってるなら、もちろん書いていただだけでも結構ですし、そうではなくて、まだどういう論理構成でどういう目的で、最後出口のある調査なのかっていうのは、そこまではっきりはしてないけれどもやってるんだということであれば、
0:51:08	そこは別に、そもそもそういうものすごい強い目的を持ってやってるわけではなくて、とはいえ、
0:51:17	これまでの課題認識、前回の会合での課題認識に対応した調査のほかに、こういうこれこれこういうことをやっています。やっただけを書いていただいても結構ですけど。
0:51:28	そこは、御社として強い目的があって、こういう個々の、
0:51:33	B F 湾の南側、かくかくしかじかこういう目的でやってるんだっていうのがはっきりしてるなら、その通り書けばいいし、そうではないなら、別にそこまで、
0:51:43	ここおっしゃるように、多少何か方針を大きく変えてくるんですかっていうふうに、全く
0:51:50	現地確認の経緯を知らない、周りから誤解される恐れがあるっていうのであれば、そこは目的としては、少し違った動かした書き方でも結構かと思えますけど。
0:52:02	その中で、
0:52:04	中国の常盤でございます。
0:52:08	形から含めて個人的には、Tを落としてしまってもいいのかなというふうに思ってるんですけど、もともとこういう形でスタートしてますのは、
0:52:17	当然、こういう形でまとめていただいて調査も開始する以前のところから、
0:52:23	前院長の更田委員長の方から、積極的に自分たちでやっていると早く審査が進むけれど、
0:52:31	言われてから言われることしかやらない、事業者が進まないようになっていようなお話もあったものですから、
0:52:37	当然我々として、今のものとしてはBCだけでまずはというふうに思っはいるんですけど、当然、多角的な意味で当然かねたり、やれることは、
0:52:50	手をつけていきたいと思いますってことで、切りになっています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:52:53	県庁で見ていただきましたように、若干思ったよりも、
0:52:59	部分もしっかりとれてますし、
0:53:02	新しいドレンチ等でも、データ出てきてますので、基本的には、A B C でまずはしっかり説明できるかなというふうには思ってますけど並行し て、
0:53:11	Dはやらしていただいて、自分たちでやってますという位置付けだとは 思ってます。ただしR I D MにつきましてB F案の方も当然、P F Rの
0:53:20	ある意味文系のところで、より古谷泥層しっかりしてますので、そっか らD Fを人目指してできるだけ下側の方まで、
0:53:30	本当は見ていきたいっていう中で、当然、
0:53:33	応援を少し追加していこうかっていう、
0:53:36	兼務的にやってる部分もあるもんですから、状況によってA B Cがなか なかうまくいかない中で、
0:53:45	このD側の方に少しやらなきゃってなったときに、以前掘ったボーリン グがまた出てくるっていうことをご容赦いただければ、Dっていうのは 少し、
0:53:57	今のこの審査会合の資料からは、
0:54:00	小さくていいのかなというふうな個人的には思ってます。
0:54:06	はい。
0:54:07	ちょっと1枚丸々つけろとかいうところは、今竹山さんおっしゃ った話だと、そこまでは過剰なんじゃないかっていうことだと思うん ですけど。
0:54:18	ないでね、書いてあるけど、何もわからないというのは、
0:54:26	位置付けなんだよねえ。
0:54:29	かといって、3ページのフローにこれ以上書き右端に書き足すと、
0:54:36	もうまた文字がちっちゃくなってという話になってしまいますかね。
0:54:41	何か書き出すぐらいは可能ですか。
0:54:47	ササキです。
0:54:48	今、
0:54:50	久世さんおっしゃったように、3ページにブワーツと書き足すのが私も いいかなと思っていて、例えばその例でどこに来るかっていうと実は、 3ページのフローでいうと、その
0:55:01	一番下の四角のさらに先なんですよね。
0:55:04	さらに先に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:06	H系は非活断層っていう目的があって、
0:55:10	そこのところに、Dというのは、こう入ってくるので、
0:55:17	そこでふわっと別に0層が十二、三万年より、またそれより古い地層であるっていう。
0:55:24	ところで、1078回の審査会合事実確認をしていただいたので、ここはここしか書けないんですけどそっから先、
0:55:33	最終目的みたいな、地形は非活断層っていうところを作ってあげると、割とDというやつなのにそこに横、横から、
0:55:44	それを補助するものですよっていう位置付けで、Dというのは入れようと思えば入れられるかなというふうに思います。
0:55:55	この右側のあれですかねえ括弧。
0:55:58	上から下まで伸ばしていますけど、実は、
0:56:02	一番最終目的が、
0:56:04	1断層系の活動性評価ではあるんで、
0:56:07	少なくともその1078回の課題に、
0:56:12	対応した。
0:56:14	調査、ダイレクタ課題に対応した調査ということではなくて、
0:56:19	それによらず、できることをやるという意味ですと、
0:56:23	そういうところだけ読み取ればいいのか。
0:56:29	課題への対応、Dって書いてあるんで、
0:56:33	はい。中部電力天野でございます。
0:56:36	ちょっと検討します1枚足して書きすぎると、何かこれ日比野です。
0:56:46	すいません。天田さんすいません、3ページの右側なんですけど、まず太字で課題への対応って書いてあるじゃないですか。
0:56:56	3ページの右側ね。
0:57:00	同じページ見てますよね3ページの右側。
0:57:03	その下に、関連文献の整理を行うとともにさらなる斑晶の取得を目指し幅広な、
0:57:10	追加調査を実施。
0:57:13	と言うのは、
0:57:17	等でその下に書いてある多角的な視点での調査についても検討実施だから、このD多角的なから始まるものと関連文献の整理を行うとともにこれは別ですよ。
0:57:31	はい、チームリーダー嘉門先生おっしゃる通りでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:37	の上で、一番上で太字に書いてある課題への対応ってのはこれ両方にかかっているんですか。
0:57:42	さっきの話だと、この課題への対応というのは関連文献の再利用を行うとともにには引っかかっている、
0:57:50	課題ってのはあれですよ 1078 回の、
0:57:54	共有された課題ですけど、
0:58:00	どうでしょうかという。
0:58:06	一部での加茂です
0:58:08	右の課題への対応というのは、上から下までの第 1078 回の課題に対して、A B C っていうのはいわゆる、
0:58:19	調査をしっかりやりますという意味で記載させていただいて当然、それとは違って、机上にはなるものの、文献なんかをしっかりと整理した上で、
0:58:31	他にやれることないかっていう調査も考えてますと、いうことを書いてますで、B っていうのは、ここ確かにちょっと混乱あって並べて書いてますがそこ、
0:58:42	とらえられるような、
0:58:44	新たに、藤ササキさんから先ほど申し上げ、
0:58:48	ご説明いただいたような、もう、
0:58:51	全く違う視点も含めてやってみようかなというのも含まれてまして、具体的に言うと現地で確認していただいた B F 1 のところ、
0:59:04	上載そうならないかっていうアイデア、或いはベリリウムてみたいな、宇宙放射線なんかで年代が決められないとか、そういった
0:59:15	ものをいろいろやってみようという、チャレンジングな目標なのでちょっとこの d 並んで気持ち悪いんで少し場所を変えて、
0:59:26	簡単な例示を少し入れておいて、チャレンジングだっていうところを、
0:59:32	記載させていただいて、
0:59:34	っていうのでいかがでしょうかね。あんまり書きすぎると本当にやぶ蛇になって、
0:59:42	なので多分現時点でその調査が妥当だそのやり方とかその場所が妥当なのかとか多分そんな議論ができませんっていうことだと思うんですけど。
0:59:51	でもスタートすると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:54	今回、7078回の課題への対応のためにやるものですっていうと、じゃあその課題に対応した調査なのかとか、そのやり方でいいのかとか、足りるのが足りないのかみたいな、ABCと同じような議論ができるんじゃないかと思って資料がは、
1:00:09	読み込んで読み込むとか周りが見ていくわけなので、
1:00:12	そうじゃないのだとすると、少し書き方はこの3ページ上の書き方を工夫してあげるってのがまず一番かもしれないです。
1:00:20	はい中部電力のものです。おっしゃる通りかと思います。今ここにちょうど3ページで括弧書きで、
1:00:28	1078回の課題を、に加筆って書いてんすけど、その枠外で対応するもので少し欄を分けるなりしてですね、こういう。
1:00:38	1078回の時点では一切議論はしてないんですけど、もう少し、
1:00:46	違う説明が本当にできはしないかっていう取り組みを、こんなところを、
1:00:54	等をやってますというのが、同じ土俵ではないというのがわかるように少しここところを修正させていただいたという、
1:01:03	対応させていただきたいなと思います。
1:01:07	はい、わかりました。じゃあ具体的に何をやってるのかっていうのを1枚付けるとするのは今回は止めにして、
1:01:16	きちんと課題に対応するものがどうなのか、そこはわかるように、
1:01:21	周りにですね、誤解されないようにという趣旨で、少し3ページ目を工夫いただくということにしましょうか。はい、わかりました私からは以上です。
1:01:35	はい、中部営業部に承知いたしました。
1:01:55	あ、規制庁カイダです。
1:01:58	ニシキとか、スズキが確認したところで、かぶるかもしれないんですけど、
1:02:05	この4ページからの表で、
1:02:09	今後、何かこういった目的でこういったことをしてこういうもくろみがありますっていうの。
1:02:15	書き込まれるかと思うんですけどちょっと現時点で、
1:02:20	どういう。
1:02:22	あの、趣旨なのかっていうの。
1:02:24	確認させていただきたいところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:27	あって、
1:02:28	今もしその辺がクリアになるのであればその辺も書き込んでいただくという形でちょっと確認をさせていただきます。
1:02:39	まずちょっとさっき鈴木も言ってたんですけど、6 ページですかね
1:02:44	対比について、
1:02:47	より確実性の高い、
1:02:50	対比根拠としてまんま花粉とか、多産する層準の有無を確認するっていうので、
1:02:57	これは
1:02:58	B F 4 地点付近でやりますと。
1:03:01	これは、
1:03:03	今ある B F 4 の中で、もっと頑張っって、
1:03:09	分析を進めるのか、何かまた別途、そういった露頭を探すのか。
1:03:17	という点と、
1:03:19	仮にそうしたのが出てきたときに、
1:03:22	今は
1:03:24	も敷地の、
1:03:25	何とか品化石のところと対比対比してますっていうのと、また話が違って来るようにも思うんですけども、
1:03:33	そのあたり今どういうお考えでこう、この辺りの進められてるのかっていうのを、
1:03:39	確認したいんですけど、いかがですか。
1:03:46	はい。中部電力森本です。12 ページの平面図をご覧いただきたいんですけども、
1:03:54	今の赤田さんおっしゃったところですねもともと我々の B F 4 地点というところで泥層がこの範囲に分布してるっていうところ。
1:04:05	赤でハッチングしております。
1:04:09	このリアーの中で、
1:04:14	泥層の厚さっていうのはあってせいぜい 1 メートル程度で満遍なくですね、調査は、
1:04:22	しておりますしてここで何か違う分析をて、今までやった分析をもう 1 回やり直して徹底的にもう一度洗い直すというところは特に考えて、
1:04:32	おりません考えているのは、
1:04:34	今担当側でですね、ベース堆積物として、同じようなドローが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:41	確認されつつありますけれども、それがB F 4 と同じ泥層かどうか、
1:04:47	含めてなんですけれども、
1:04:49	そういったところで
1:04:52	あと B F 4 の武川関の層準の上ないしは下、
1:04:59	花粉ん微化石が出始めるような層準が出てくればですね。
1:05:03	もう少し敷地の花粉微化石との対比もしやすくなるんじゃないかとい うので、
1:05:09	調査をしていると。
1:05:10	いうものです。
1:05:12	ただ対比当たっても、
1:05:15	やはり
1:05:16	出る出ない出る出ないというところの、
1:05:22	ある程度の厚さをもっと層状。
1:05:24	厚さがないと、なかなか層状としての対比が難しいというのが前回の課 題だカイダだ課題だと認識しておりますので、
1:05:32	そういった向井関の層準の上または下の層状が出てこないかという調査 を今やってるといふそういう意味です。
1:05:41	規制庁のカイダですがわかりましたじゃあの、今おっしゃったようなと ころ。
1:05:46	が
1:05:47	今後記載されてくるのかなというふうに、
1:05:51	思いますのでその辺わかるようにお願いします。
1:05:56	それで後、6 ページもう一つ下の欄なんですけど、そこにも対比という ことで、
1:06:03	物証のところとして文献の記載されているところで追加していろいろ、
1:06:11	やるというところで、
1:06:14	泥層と同じ特徴を持つ層準の有無を確認するっていう、
1:06:19	そういったことが書いてあるんですが、
1:06:23	この
1:06:25	特徴なんですけど、実際の調査手法の方を見ると、
1:06:29	何て言いますか
1:06:32	その上の欄みたいに分析とか、うん。書いてなくて、
1:06:36	泥層の特徴っていうのは、いろんなものをこう分析しても出てこない っていうところは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:42	ある意味大きな特徴だったし、今もそういうふうに説明されてんですが、
1:06:47	この下の欄で、
1:06:50	ここにある項目だけでどういった特徴を、
1:06:55	なんていうか、議論されて、
1:06:59	る予定で今調査されてるのかっていうのは、
1:07:03	そこをちょっと確認してください。
1:07:12	はい。中部電力の森元です。
1:07:15	泥層と同じ特徴。分析キーでですね花粉が出てこないそれから、化石も出てこないっていうところ一つの特徴ですけれども層相として、
1:07:27	交換できへん硬岩の円礫を含んでいるだとか、
1:07:31	あとシルト質、礫まじりシルトだということも一つの特徴かなと思いますので、そういったところも含めて確認、
1:07:41	特徴と、
1:07:43	ゆっくりで記載しております。それが分析をやらないのかと、新しく調査とか分析、
1:07:52	だとか微化石やらないのかっていうと結集することじゃなくてですねちょっと主な調査手法ということで、少し上流側の露頭調査ボーリングっていうその地点の調査から入りますよということで、
1:08:07	今、それしか書いてないんですけども、本当に
1:08:11	調査の流れとしては、
1:08:14	花粉駿河微化石等も併せて確認していく予定ではあります。
1:08:20	規制庁海成わかりましたまずはその層相のところからっていうところその辺もまた目的とどういった
1:08:28	それがどういった意味を持つかっていうのを、また書いていただけるものと考えてます。
1:08:34	あともう一つちょっと前のページに戻って5ページの一番下の欄なんですけれども、
1:08:40	これは
1:08:42	放散虫とかざくろ石をふやして海成っていうところ、
1:08:47	裏付けを、
1:08:49	裏付けるデータをふやしてこう、
1:08:53	強くしたいということだと思います。調査地点は、
1:08:57	B F 4 地点付近ということなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:01	放散虫はBF4のところで、いかに出てくるかっていう、
1:09:07	ところなんだと思うんですけど。
1:09:09	ざくろ石の話っていうのは、むしろ何かこう、
1:09:13	後背地の何ていうか相良層にも入ってんじゃないかっていうようなところも、何か議論だ。
1:09:21	だと思うんですが、
1:09:23	これはやっぱりまずはざくろ石とか微化石含めてBF4のところでこうやるんだという、そういった意味でしょうか。
1:09:38	はい、中部電力の森本です。
1:09:43	と
1:09:44	泥層対象で対象をですね泥層だけに限定するわけではなくて前回会合でもご指摘いただいておりますが、相良層、
1:09:54	も含めてですね、分析を行う予定であります。
1:09:58	その辺り真ん中の列に、この泥層及び付近の地層中という記載をしておいてですねここに相良層を、
1:10:07	を含めたつもりでございましたがその辺り嫁読みにくいところもありますので、
1:10:12	その辺りは修正に合わせてですね具体的にどういったところを対象にするのかと。
1:10:19	ところをもう少し細かく示させていただきたいと思います。
1:10:24	はい、カイダですわかりましたじゃこの目的に応じてどういうところで、資料を取ってやるんだっていうところがわかるように、
1:10:34	記載をしていただけるということで、わかりました。
1:10:39	私の方からは以上です。
1:10:50	規制庁谷です。
1:10:52	ちょっと12ページの説明してる内容確認させて欲しいんですけども、
1:10:58	12ページで言ってる、最後の上の四角囲みで、
1:11:03	性状を詳細に確認して泥層との関係について検討していくっていうような書き方してるんでこの関係っていうのは、
1:11:11	主に連続するかしないかとかそういう関係の話を言ってるっていうことでいいんですかね。
1:11:24	はい中部電力の森本です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:11:26	ちょっと関係という言葉にまとめてしまいましたが連続腔に関してはですね真ん中に南北方向の道路が走っているのでなかなか難しいかなと思っています。
1:11:37	ちょっと言葉でまとめてしまったんですけども、
1:11:39	13 ページで示しております。下位の地層が泥層と同じ。
1:11:46	特徴を持っているのかどうか特徴というのはさっきカイダさんからありましたけれども、
1:11:52	花粉だとか、微化石の結果等も含めてですね。
1:11:58	同じような性状特徴を示すのかと。
1:12:02	いうところを確認していくということと、
1:12:09	そうですね。その点、そういった形で
1:12:14	同じなのかどうなのか、同じような価値があるのかというところを確認して、思っております。丹治です。それってイメージ的には、何かこうBF4 地点からちょこちょこなんかでか、何か一定の間隔でこう、
1:12:28	泥層ここに②R 値みたいなのをやって追いかけていくのかなってちょっと勝手に僕思ってたんですけど、そういうイメージじゃなくって、
1:12:38	んなん、ここの青い、青、青破線のところ。
1:12:43	どこかでちょっと、
1:12:45	いや、やって、
1:12:47	ほんで、
1:12:48	似てるか似てないかを見るっていうだけなんですか。なんかね、ちょっとイメージがわかわいてなくて、
1:12:56	ある程度こう、
1:12:57	追跡みたいなイメージが入ってるのかどうなのかっていうのをちょっと教えて欲しいんですね、BF4 からD-11 トレンチに向けての、
1:13:07	その追跡のようなイメージなのかどうなのか。
1:13:12	粗相じゃないってことなんすかねさっきの森本さんの答えは。
1:13:17	それでちょっと説明が間違っております追跡というイメージも含めてですね。
1:13:24	調査はやっていきます。
1:13:26	ただ南北の道路で分断されているので、完全に連続でそれはわかりますよそれはわかりますよ。例えばだからこれ、ここにもあってここに持って断面図を書いてみて、繋がりそうかどうかとか、そういうのをやっていくっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:40	ことで先にやっていくという意味でね。すいません。あともう1点は、その前のこのトレンチ調査等によりその性状を詳細に確認してというのはさっき仲田さんとも、
1:13:52	お話があったと思うんですけども、この性状っていうのが、
1:13:57	何かさっき特徴っていう言葉で何か分析の話をされてたと思うんですけども、これって何かほら、
1:14:05	最初に伊敷さん言ったような削り込むような堆積物だとかそういうのが確認をどうするんですかっていう話もあったと思うんですけど、その性状っていう中に、
1:14:15	その堆積構造をもう一度ちょっとBF4の地点までこう立ち返って、正常っていうこの言葉の中に、堆積構造も、
1:14:27	きちんと確認していくんだよっていうような、そういった思惑があるのかどうなのかっていうのを確認させてください。
1:14:38	はい森元です。先日現地でも確認いただいたときもいろいろ
1:14:45	現場でお話しいただきましたけれどもその点も含めてですね今、確認を行っていく予定でおりますのでそのためもう一度、
1:14:54	BF4地点のそもそもの上載層がですねどういった性状なのかというところの再開発を合わせて実質していく予定でおります。
1:15:06	はいタニです確認できました。はい。
1:15:10	私の方以上です僕も最初にニシキさんと狩野スズキさんが確認してた内容を同じようなことを確認して、感じていたっていうのだけちょっとお伝えしときます。
1:15:38	規制庁佐口ですけども、私も、
1:15:44	同じような、
1:15:45	これ印象っていう、
1:15:48	話かもしれないんですけども、
1:15:52	あえてですね。
1:15:53	少し前の、
1:15:55	プレート間地震の津波評価ですね。
1:15:58	この件があったので、
1:16:00	少し我々も
1:16:04	ちょっと言うべきことは言っておこうかなと思って、ちょっと1点だけまずコメントをさせていただきたいのは、
1:16:12	やっぱり資料を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:14	全体を通して、すごく厚くする必要は当然ないんですけども、本当に、最低限、
1:16:23	この資料を見て、
1:16:25	わかるかという、多分、
1:16:28	今って、ずっとこれまで審査に携わってきた人だったらわかるんだけども、
1:16:33	そうじゃない人。
1:16:35	にとってわかる資料になってるかっていうと、やっぱりそうじゃないと。
1:16:39	で、
1:16:40	ちょっとだけ具体的に言いますけども、
1:16:44	まず3ページフロー。
1:16:46	確かにこれ、対応関係はわかりやすくなったんですけども、
1:16:52	以前、
1:16:53	御社がどういうふうな評価をしていたか、具体的に言うと9月30日の資料だと、29ページとかですかね。
1:17:02	そういうものの対応関係というのか、まずそういうものがあって、こういうコメントがあって、それに対して、
1:17:10	こういう、
1:17:12	形で、
1:17:13	調査なり対応しますと。
1:17:16	いうのが多分あるべきかなっていうのがまず1点と、
1:17:21	それから、当然その4ページ以降、5ページ6ページ7ページってあるんですけど、
1:17:27	これ、
1:17:29	文字だけで、
1:17:31	例えばですね。
1:17:33	B F 4 地点ってどこ。
1:17:35	B F 1 ってどこ。
1:17:37	という話になると、
1:17:39	これそのあとの、
1:17:40	9ページで初めて位置関係が出てくるんですよ。
1:17:44	これを見ると、
1:17:46	いきなり最初に対応方針でこういうことをやります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:51	B F 4 地点ではこういうことやります B F 1 地点ではこういうことをやりますって言われても、
1:17:56	そもそも B F 4 地点ってどこでしたっけという当然そういう、
1:18:02	話になって、結局、
1:18:05	一番のポイントっていうのは、当然我々がコメントをしたことに対して、
1:18:12	どの地点で、
1:18:13	どういう目的で、
1:18:15	どういう調査をするのか、どういう対応をするのかっていうのがやっぱり一番見せなきゃいけない部分だと思うんですけど。
1:18:23	そうした、
1:18:25	ことができますね、さすがにこれ 9 ページまでいかないよ。
1:18:29	場所がわからない。
1:18:31	とかですね、もうちょっと言うと、あれ、B F 4 地点って、
1:18:35	B F 4 地点 B を B F 4 地点で最初から始まりますけど、B F 4 地点って何でしたっけって、
1:18:43	いや一番肝心の H 9 断層って、どこにも載ってないですよ。
1:18:52	名前は、
1:18:53	出てきますよ。1 Q 断層って、じゃあ H 9 断層ってどこにあるんでしたっけってないんですよ。
1:18:59	なので、
1:19:00	何ていうんすかねそういう、もう最低限、
1:19:05	資料をこういっぱいこう付け加えて、
1:19:10	厚くするっていうわけじゃないんですけど、最低限の情報はやっぱり載せていただいて、
1:19:16	資料っていうのは作っていただきたいと。
1:19:22	それが、
1:19:23	まずまず大きなコメントなんですけど。
1:19:26	その点よろしいですかね。
1:19:32	は市村新倉間野です。はい、おっしゃることよくわかります特に
1:19:37	5 ページ 6 ページ 7 ページはそれぞれの
1:19:41	内容を記載して場所が、
1:19:45	記載してあるにもかかわらず、確かに、
1:19:48	チーズもないので、9 ページみたいなものを見開きでも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:53	少なくとも、どこでどういうことをやってるのかっていうのが、資料作り直すという、こういった地図を挟んでいって、
1:20:02	見開きですぐわかるようにすると、いう対応もできます。地球の話やさ、おっしゃる通りで、
1:20:10	12 みたいなところに、H断層の、
1:20:13	地球のラインが入っているだけでも十分話はあると思うんですがそこが漏れておりますのでその辺りももう一度そこは点検させていただきたいと。
1:20:24	思っております。
1:20:25	なかなか、コメント回答、先ほど最初に佐口さんおっしゃられた、前回までの説明がこうで、今回共有認識した、
1:20:37	結果を受けてこうするんですと、
1:20:41	でもですね共有認識したやつがこのちっちゃい字で2枚もあるので、なかなかすぐ綺麗に入らないっていうのが、
1:20:52	あって今こうなっているんですけど、ちょっと冒頭に、
1:20:56	もう少しそこは簡略化して、
1:21:00	どういう、
1:21:01	前はこういう説明今回は、
1:21:04	こういった趣旨の、
1:21:07	共通認識終えた上で、
1:21:09	3 ページの方に進んでいくというところ、もう少しわかるような、
1:21:14	ものを出して、
1:21:16	行きたいと思います。
1:21:20	はい。佐口です。まさに天野さんおっしゃった通りで、そういうちょっと、ちょっとした工夫だと思いますけれどもそれによって多分、
1:21:29	見る方も印象ががらっと変わるでしょうし、そうすると、この前のその津波評価の時のような、あんなことにはならないとは思いますがその辺はちょっと工夫していただきたいのと、
1:21:39	あと少しだけ、幾つか確認させていただきたいと思うんですけど、スズキの方から3 ページでそのDBの多角的視点の調査について、
1:21:52	確認しましたけれども、9 ページ見ると、実は、
1:21:57	B F 1 地点で、
1:21:59	これにDって書かれてますけど、実はこのDの中にも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:04	実はCっていうのって含まれてないんですけどっていう、いわゆるです ね、いや、BF1地点の古谷泥層自体をもうちょっと調査することによ って、
1:22:15	いわゆるその、古谷泥層の株というもの、これを明確にした上で、BF 4地点との対比だから、
1:22:25	BF1地点って、結局この古谷泥層、
1:22:30	兜の対比のところはどう、どうなっちゃったのかなっていうのが、ちょ っと確認したかったんですけど、その辺りってどう、どう、どうなっ てるんですけど。
1:22:57	はい中部電力の井元です。BF一位、調査としてですねボーリング、
1:23:05	資料上は今9ページで、古谷泥層の詳細な分布状況等ということで、丸 Dとして、
1:23:13	書いております。整理としてですね沢辺さんおっしゃるように今小高を 補強することで、
1:23:18	より古谷泥層の特徴というのが見えてきて、
1:23:21	対比にあたっての、有益な情報がえられる可能性もあるので、
1:23:26	当然その対比、
1:23:28	今、
1:23:29	効いてくる。
1:23:31	可能性はあるので、ちょっとその辺りをもう一度整理してですね
1:23:35	お示しさせていただきます。BF1でやっていることが全部D、対比さ れるのかというと建設するわけではないので、
1:23:44	当然、
1:23:45	分布の話もそうですし、椎野対比の話もそうですので、
1:23:51	ちょっとそのあたりもう一度整理してですね資料としてまとめて、
1:23:56	お示ししたいと思います。
1:23:59	はい。サグチですわかりました。なのでBって言ってますけど、実際 にはこれ、Bはもう当然書かれてますけど指針も含めていると、そうい ふに今、ご説明を受けたので、
1:24:10	私は少なくとも、そういう理解でいます。
1:24:15	で、あとごめんなさい、細かいことなんですけど、やっぱり3ページ のフローのところで見ちゃうと、
1:24:23	一番左のこの局所的なベースを、
1:24:26	演出堆積物との比較って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:30	矢印が今丸栄のところだけにあるんですけど、これって本当に、これでよかったんですかね。だから結局その局長的な提出堆積物等性状が違えば、
1:24:43	もうこれはもう広域に分布する堆積物なんですよということだけを、
1:24:49	言うというフローでいいのかなって。いや、なぜかというんですね。
1:24:54	そのあとに、
1:24:56	4 ページとかでもあるんですけど、これ、
1:25:01	いわゆるそのBF1地点の、
1:25:03	方関戸島って、このBのところにもかかってきてないですか。
1:25:09	ていう。だから、これと、5 ページの5 ページ、5 ページの方がいいかな、5 ページの下から二つ目のところで、BF1tのこの宝石同等の差別化みたいなのがあるんですけどこれ、
1:25:21	いわゆるマルBって書かれてて、
1:25:23	そうすると、
1:25:24	何ですか、3 ページのこの局所的なっていうのはあくまでも、
1:25:31	これまで行った敷地内に分布しているものだけを言っているのか、それとも、BF1地点のこの方赤道のことも含めて、
1:25:42	言われているのか、後者だったら、多分この矢印って、
1:25:47	ちょっと違うんじゃないかなと思ったんですけどそこを確認させてください。
1:26:02	はい中部電力の折本です。直接的な堆積物との違いを示してですね、
1:26:10	大きくいえることは、広域的に分布する堆積物、
1:26:16	BFの泥層であって、
1:26:19	それとは違うんですよって、
1:26:22	そういう立場なので、BFのベースは好意的な、
1:26:27	分布する堆積物である。
1:26:29	ですよという根拠に、
1:26:31	主目的としてそこに矢印を、
1:26:34	入れておりますで、ちょっと今嵯峨さんおっしゃったような海成堆積物じゃないよっていうのは、
1:26:43	整理が、
1:26:46	なかなか、
1:26:47	難しいんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:53	局所的な堆積物の中に陸成のイベント性のものが含まれていてそこの違いを示すことで、
1:27:03	海であることを補強しようというもくろみで、宝石同等の差別化を図ろうと今しているところですので、
1:27:12	ばっかかかっていると言えはかかって、
1:27:16	おりますちょっと単純化して示しちゃってるので、
1:27:19	そこまでは書くと話がややこしくなるかなというので今1本にしておりますが、
1:27:25	そうですね、少しその辺りも整理して、
1:27:33	おきたい。
1:27:35	と思います。局所的っていうことと、陸成のっていうところが、
1:27:41	少しゴチャッと今なっちゃってて、わかりにくくなってるかなと思いました。はい。ちょっとそこは整理しております。はいサグチで決めました。私はあくまでも
1:27:55	このこのフローと、それから5ページとか4ページに書かれているところの整合性だけのところですので、逆に言うと、例えば5ページの
1:28:04	部分をBだけじゃなくって、これはを含めるっていうのも一つ手かもしれないですし、そこはちょっとお任せしますけどいずれにしてもちょっとその、
1:28:14	整合性がですね、ちょっと今合っていないようにも見えるので、そこは確認を。
1:28:21	していただきたいと思います。いずれにしても先ほど私が申し上げたように、やっぱり一番重要なのは、どの地点で、どういうことを目的に、どういう追加調査なり検討をするかというところがちゃんとわかるようにはしていただきたいと思いますので、
1:28:38	その点だけはよろしくお願いします。以上です。
1:28:46	拝承しますありがとうございます。
1:29:03	規制庁の認識です。
1:29:05	大体規制庁側からですね、今日確認したかった。
1:29:10	ところについては出尽くしたかなと思いますけれども、
1:29:14	中部電力の方から何かございますでしょうか。
1:29:22	中部電力幅野でございます。ちょっと今日、幾つかご確認いただいた中で資料の方、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:29:31	読みやすいように、修正してくるんですけど、もう1回ヒアリングという形なのか、1回直して提出させていただくのかといった辺りは、
1:29:42	どんなスケジュール感で考えればよろしいでしょうか。
1:29:53	規制庁のニシキです。現時点ではですね特にヒアリングをもう1回やろうとは思っておりませんので、まず資料の方出していただいて、その中身で、
1:30:04	必要かなと思ひましてまたそういうことを対応するかもというような感じで、今のところあります。以上です。
1:30:11	はい。中部電力天野でございます。承知いたしました。衛藤。可及的速やかに修正したものを作りまして、また、
1:30:21	お送りさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
1:30:28	はい、規制庁ニシキです。反射資料の方のご準備はよろしく願いいたします。
1:30:38	はい。規制庁の伊敷です。それでは本日のヒアリングの方これで終了したいと思います。
1:30:45	お疲れ様でした。
1:30:47	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。